

第44回全国消防殉職者慰霊祭

第44回全国消防殉職者慰霊祭は、石破内閣総理大臣、村上総務大臣、防災担当大臣代理 鳩山内閣府副大臣をはじめとするご来賓の方々と、都道府県のご遺族及び全国消防関係者のご参列のもと、9月11日（木）ニッショーホールにおいて、執り行われました。

日本消防協会では、昭和57年以来、毎年、全国消防殉職者慰霊祭を行っており、本年は5柱（いつはしら）の御霊が新たに合祀され、明治5年からの消防殉職者等の御霊は、5,795柱となりました。

今年の慰霊祭は、全国から多くのご遺族の方々にご参列を賜り、約500名のご参列者のもとで挙行することができました。式典では、石破内閣総理大臣、村上総務大臣及びご遺族代表の「追悼のことば」を頂き、その後、参列者の皆様による献花が行われ、厳粛のなかに執り行われました。



【式辞 日本消防協会 会長 秋本敏文】

全国からご遺族をお迎えし、ご来賓の方々のご参列を頂きまして、これより、第44回全国消防殉職者慰霊祭を執り行います。ご協力いただきました方々に厚くお礼申し上げます。

殉職事故が生ずることがないように、関係者それぞれのお立場で力を尽くして頂いていますが、今年も新たに5柱の御霊を合祀することとなりました。それぞれ、消防使命達成のため全力を尽

くして頂いたなかでの殉職であり、そのご尽力に深く感謝申しあげ、心から敬意を表するものでございます。

特に近年は、地球環境の変化を背景として、世界的にさまざまな災害が発生しておりますが、日本では地震、津波、台風などが各地で発生しており、社会インフラの老朽化に伴う事故なども加わり、これまでと様相が異なるさまざまな災害が発生しています。消防の任務は益々増大しているのですが、一方では、地域環境の変化などの中で消防団員等の減少が続いています。

消防はそのようななか、消防使命達成のため力を尽くし、そして、事故防止に努めておりますが、今後さらに関係情報の収集等に努力して事故防止に万全を期さなければなりません。

慰霊祭の開催にあたり、そのことの決意を改めて申しあげさせていただきます。

最後に、殉職された御霊の安らかなご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、私どもは消防育英会の事業につきましてもできる限り配慮しているところでございますが、ご遺族の皆様のご健勝ご多幸をお祈り申しあげまして、慰霊祭開催にあたってのごあいさつとさせていただきます。



秋本会長による式辞



松浦理事による開式のことば



御霊の奉納



石破内閣総理大臣による追悼のことば



村上総務大臣による追悼のことば



ご遺族代表による追悼のことば



秋本会長による献花



ご遺族代表による献花



石破内閣総理大臣による献花



村上総務大臣による献花



防災担当大臣代理 鳩山内閣府副大臣による献花



参列者による献花



江戸消防記念会による鎮魂の歌（木遣り）



森田副会長による閉式のことば



ご参列の皆様